

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-279-2113

年度	平成29年度		
施設名	新潟市子ども創作活動館	所管部・課	東区健康福祉課
施設の設置目的	文化活動や遊びを通して、想像力豊かで健全な子どもの育成を図る。		

当初予算(千円)	当初人員(人)		作成日	H29.5.21
歳入	2	正職員	修正日	
歳出	8,351	非常勤	評価日	H30.6.29

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29目標					H29結果
1	市民	利用者の事業参加率の向上	月平均事業参加率 (単位:%)	19	20	16	20	15		利用者統計	子どもの工作離れが進んでいる。そのため、来館するが、工作をせず、パドミントン等、体を動かす子どもが多くなっている。	C:未達成
2	市民	実施事業数の確保	年間の事業実施数	252	252	247	241	233		事業集計	予定していた事業はすべて行うことができた。事業数が8減になっているのは、カウムの仕方を統一したため。	B:達成
3	市民	利用者の満足度	利用者アンケートによる 対応評価(5段階平均)	4.4 (4段階平均)	4.6 (5段階平均)	4.9 (5段階平均)	4.9 (5段階平均)	4.9 (5段階平均)		利用者アンケートの実施	110名の方からアンケートのご協力をいただいた。否定的な意見は1名だけであった。	A:達成(優)
4	業務	安全確保体制の確立	安全点検と避難訓練の実施回数(単位:回)	安全点検 12 避難訓練2	安全点検 12 避難訓練2	安全点検 12 避難訓練2	安全点検 12 避難訓練2	安全点検 12 避難訓練2		毎月の安全点検・避難訓練	年2回の避難訓練は保護者、子どもの協力のもと、実効性のある避難訓練となった。	A:達成(優)
5	業務	広報活動の展開	広報誌の送付施設 (単位:か所)	48	49	49	49	49		関連施設への案内チラシ配布	インフォメーションを毎月作成・配布することができた。インフォメーションを見て、事業参加する方が増えている。	B:達成
6	業務	造形指導事例の集積	指導事例集資料の集積 (単位:件)	50	106	106	106	31		指導事例の蓄積	昨年度、予算を計上して当館のリーフレットを作成した。その分、報告書掲載の指導事例が減った。	C:未達成
7	人材	造形指導に関する研修	館内研修会の実施回数 (単位:回)	6	6	6	6	6	月事業を紹介しあうことを通じた 内容・材料研修	用具・材料に係る研修	毎月、職員打ち合わせを行い、互いの工作の実践を紹介し合うことができた。	B:達成
8	人材	市職員としての研修	コンプライアンスや情報 管理に関する研修会回数 (単位:回)	2	2	2	2	2		研修会への参加	6月、12月の2回、館長を講師にコンプライアンス研修を行うことができた。	B:達成
9												
10												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>当館は、他の児童施設と異なり、遊べる施設というだけでなく、つくる活動を楽しめる施設として創造活動を重視している点に特色があります。このことを踏まえて、前年度と同様、安全・安心して楽しく温かみのある環境つくりと、より魅力ある事業の展開を目指し、利用者の皆様に満足いただけるように努めます。これにより、日常的な遊びやものづくり空間として、当館を一層有効に利用していただけることを願っています。加えて、職員の研修を重ね、指導力や資質の向上を図っていきたくと考えています。目標については、前年度の実績を踏まえて設定していきたく。</p>	<p>・「安全」「安心」「快適」をモットーに、環境面では避難訓練、安全点検や遊具の洗浄、館内の温度管理、また、利用者の方には笑顔で挨拶をすることを心掛けた。大きな事故が1つもなく、利用者の満足度が高いことからこの成果が伺える。工作離れの子どもが増えていることから「もっと魅力ある工作」「やってみたくなる工作」の研究開発に全職員で取り組んでいきたい。</p> <p>・来館者数は36,899名。前年度比は103%である。地域の子どもたちにとって当館が遊びの場となって定着していることが分かる。反面、中学生の来館者が68%となり減少している。中学生の忙しい実情もあるかと思われるが、中学生にも魅力あることも創作活動館にしていかなければならない。中学生が小学生に宿題を教える「宿題片付け」などの取組も考えられる。</p> <p>・利用団体数は42。3月を除いて、毎月どこかからの団体が来館している。五泉市、阿賀野市、新発田市等、新潟市以外の団体も増えている。利用した団体の口コミでの評判が広がっていることが考えられる。</p>